



## くらすめ〜る

学級通信

### 向津具小学校3年

担任：三戸 泰夫先生

児童：15名

### 学校自慢！クラス自慢！

クラスの子どもたちにも  
んできるものを聞きました。

#### 一、学校じまん

みんな明るく元気に「おはよう」を言う。

(秀一、拓哉、沙也加)

花だんに花がいつぱい咲いている。

(温子、淳実)

インコがいつぱいいて、学校の川で生き物と遊べる。

(七恵、菜美子)

外で元気よく遊んだりするの  
に広い運動場がある。

(千成)

#### 二、クラスじまん

みんな明るく元気がいい。  
わらい声がいつぱい。

(一平、大樹、和幸、富士男)

遊ぶのがじょうずで、けんか  
かしてもすぐ仲直りする。

(真人、愛)

生き物をかうと、みんな大  
切に育てる。

(絢弓美)

何事にも前向きで、意欲的  
に取り組む十五名の子ども  
たちが自慢です。

(三戸)



### 暮らしのワンポイント

お呼ばれや冠婚葬祭などには、やはり着物で、という人が少なくありません。大切な着物をいつまでも美しく着るためには、着終わった後には、着終った後の手入れがポイントになります。

### 着物の手入れと保管

脱いだらすぐに着物のハンガーに掛け、半日から一日干しにして湿気を取りましょう。手入れはなるべく早く、明るい清潔な場所です。まずは、ビロードの布や毛の柔らかいブラシで布目に沿って軽くたたかのように全体のほこりを落とします。

その際、しみや汚れもチェック。衿や袖口の汚れは、着物の下に白いタオルを敷き、ベリジンを含ませたガーゼでたたいて落とします。汗をかいた部分の汚れは、霧を吹きかけて白いタオルをあて、軽くたたけば落ちますが、時間がたつて変色していたら、クリーニング店など専門家に任せたほうが良いでしょう。裾についた泥はねは、すぐにいじらず、完全に乾いてから軽くも

### しみや汚れを早めにチェック

むか、柔らかいブラシで落とします。しみには、一刻も早い手当が必要ですが、しみの成分、布地の色や種類によつてしみ抜きの方法が異なります。水をつけただけで変色する布もあるのです、不安な場合は専門家に相談を。

ひと通りチェックがすんだら、着物の裏からあて布をしてアイロンをかけ、きちんとたたみます。保管は一着ずつ畳紙か木綿の大風呂敷に包み、重ね過ぎないように浅めの引き出しにしまえます。畳紙を通して色が移ることもあるので、濃い色と淡い色の着物を重ねないようによしまししょう。防虫剤は引き出しの四隅に置きます。着物に向かないものもあるので注意して下さい。

たまにしか袖を通さない着物だからこそ、着終わった後の手入れをきちんとし、末永く大事にしたいものです。

